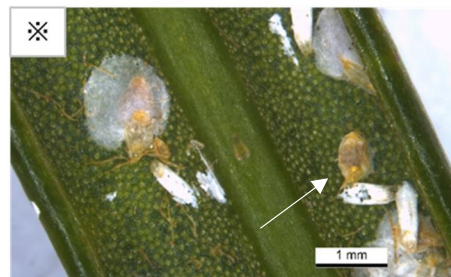


ソテツを加害するカイガラムシの防除方法

- ✓ 被害葉は切り落として処分。
 - ・ 焼却できる場合は、現地もしくは焼却施設等で焼却。
 - ・ 焼却できない場合は、ビニール袋などに入れてゴミとして出す。
 - ・ 焼却施設等へ移動の際は、カイガラムシが飛散しないようビニール袋などに入れる。
- ✓ 被害葉を切った後、幹や葉柄切り口など、樹木全体に薬剤を散布。 幹の隙間や切り取った葉の基部などにも多数生息しているので、念入りに。
- ✓ 薬剤散布後も、こまめに観察。生き残りの他、根から移動等により新たにカイガラムシが付着する可能性があるため、発見次第、適宜追加散布を行う。
- ✓ 被害地周辺については、健全なソテツも冬季には剪定を行う（寄生場所を減らす。また、新芽の季節に被害に気がつきやすくなる）。
- ✓ 一般に、カイガラムシは風による飛散や人の衣服などに付着して運ばれ分布を拡大するので、被害木処理の際は服装に付着しないよう注意が必要。また、被害木処理後は、健全なソテツに近づかないようにする。

被害状況の写真



主な登録薬剤

農薬名	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数
クミアイアタックオイル（マシン油乳剤）	100倍	散布	—	—
エアータック乳剤（マシン油乳剤）	100倍	散布	—	—
ラビサンスプレー（マシン油乳剤）	100～200倍	散布	夏期	—
マツグリーン液剤2	250倍	散布	発生初期	5回以内
アプロードフロアブル	1000倍	散布	—	6回以内
カルホス乳剤	1000倍	散布	発生初期	6回以内

（令和5年3月10日現在）

注）

- （1）県内のホームセンター及び農薬会社で購入可能な薬剤に絞って記載しております。
- （2）マシン油は、油膜が虫を覆い窒息させて殺虫します。環境への負荷が少ない一方、効果は弱めです。こまめな観察を行い、適宜追加散布を行ってください。
- （3）薬剤を使用した木（実も含む）については、食用に用いることはできません。
- （4）農薬の使用にあたっては、容器のラベルに記されている注意事項を守ってください。



健全なソテツ